

ふりがな

うえだ げん

氏名

上田 元

1. 学歴

- 1985年3月 一橋大学社会学部卒業
1985年4月 一橋大学大学院社会学研究科博士前期課程地域社会研究専攻進学
1987年3月 同課程修了(社会学修士)
1987年4月 一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程地域社会研究専攻進学
1988年10月 ロンドン大学ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン地理学部博士課程進学
1991年12月 一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程中退
2000年1月 ロンドン大学ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン地理学部博士課程修了(Ph.D取得)

2. 職歴・研究歴

- 1992年1月～1996年3月 東北大学理学部 助手
1996年4月～1999年3月 大東文化大学国際関係学部 講師
1999年4月～2003年3月 東北大学大学院理学研究科 助教授
2003年4月～2007年3月 東北大学大学院環境科学研究科 助教授
2007年4月～2015年3月 東北大学大学院環境科学研究科 准教授
2015年4月～現在 一橋大学大学院社会学研究科 教授

3. 学内教育活動

(A) 主な担当講義名

(a) 学部学生向け

地球社会の課題 A, 地域研究 A, 社会開発論 A, 社会開発論 B, 国際開発論 A

(b) 大学院

社会開発論 A, 社会開発論 B, 国際開発論 A, 地域研究の理論, 相関地域研究

(B) ゼミナール

導入ゼミナール I・II, 社会研究入門ゼミナール, 教養ゼミナール,
学部後期ゼミナール, 大学院ゼミナール

4. 主な研究テーマ

東アフリカ(ケニアとタンザニア)をフィールドとして以下の研究テーマに取り組んでいる。

- 1) インフォーマル・セクター零細企業研究
- 2) 経済自由化後の農村の生計・環境と地域システムに関する研究
- 3) 自然資源・環境の利用と管理の研究, および土地利用・景観変化の研究
- 4) 農林水産資源の複合的利用と管理に関する研究
- 5) 水資源利用の批判的環境安全保障論

また, 地域を問わず, 「社会問題と社会空間」に関連するさまざまなテーマへの接近法を模索している。

5. 研究活動

A. 業績

(a) 著書・編著

- ・ IKENO, J., UEDA, G., and TANAKA, U. eds. Resources Vitalizing Local Societies in Tanzania (共編著), Center for African Area Studies, Kyoto University, 2018.
- ・ 島田周平・上田元編『アフリカ(世界地誌シリーズ8)』(共編著), 朝倉書店, 2017. (分担部分: 歴史的多様性 6-11, 今日のサブサハラ・アフリカ 11-14, 都市問題 86-94, ケニア農民による欧州向け野菜栽培 130)
- ・ 高橋基樹・大山修一編『開発と共生のはざままで—国家と市場の変動を生きる(アフリカ潜在力3)』(共著), 京都大学学術出版会, 2016. (分担部分: 井戸待ち行列にみる村落自助集団の秩序—ケニアにおける水セクター—改革と受益者負担の持続性, 123-161)
- ・ 横山智編『資源と生業の地理学』(共著), 海青社, 2013. (分担部分: 水資源管理と輸出野菜生産—ケニア中央部の小農による欧州向け契約栽培, 245-269)
- ・ 『山の民の地域システム—タンザニア農村の場所・世帯・共同性』, 東北大学出版会, 2011.
- ・ 池谷和信・武内進一・佐藤廉也編『世界地理講座12 アフリカII』(共著), 朝倉書店, 2008. (分担部分: 東アフリカの地域社会生態史—集約的農耕の集落群システム, 469-481)
- ・ 村山祐司編『地域研究』(共著), 朝倉書店, 2003. (分担部分: 発展途上世界の地域研究—ケニアにおける人間-環境関係を例に, 80-107)
- ・ 竹内啓一編『都市・空間・権力』(共著), 大明堂, 2001. (分担部分: ナイロビにおける住宅商品化の波と社会編成, 130-173)
- ・ 原隆一編『風土 技術 文化』(共著), 未来社, 1998. (分担部分: 小農のコーヒー生産・加工技術—タンザニア北東部高地の事例から, 241-283)
- ・ 篠田隆編『発展途上国の経営変容』(共著), 未来社, 1997. (分担部分: ケニアにおける企業形成史とキクユ人職人の企業家精神, 219-254)

(b) 論文

- ・ 「東日本大震災による仙台市の水道管被害と人工地形改変」(共著) 東北地理学会編『東日本大震災と地理学』, 82-90, 東北地理学会, 2018.
- * 「タンザニア・メル山地域の農地林業と森林関連政策」『アフリカレポート』 通巻56号, 63-68, 日本貿易振興機構・アジア経済研究所, 2018.
- * “Quick cash or income maximization: economic significance of premature harvesting for farm forestry smallholders in the Mount Meru area, Tanzania” African Study Monographs, Supplementary issue 55, 7-26, 2018.
- * “Local lacunarity Analysis of Agricultural Landscape Image in Northeastern Tanzania” Global Geospatial Conference 2013 Proceedings, UNECA Conference Center, Addis Ababa, Ethiopia, 2013.
- * “Land subdivision and land use change in the frontier settlement zone of Mount Meru, Tanzania” African Study Monographs, Supplementary issue 42, 101-118, 2011.
- * 「東アフリカ農村における森林資源管理と生計安全保障—タンザニアとケニアの参加型制度の事例分析」児玉由佳編『現代アフリカ農村と公共圏』, 99-145, アジア経済研究所, 2009.
- ・ 「東・南部アフリカにおける参加型自然資源管理と住民組織」『アフリカ農村の住民組織と「市民社会」』, 60-95, アジア経済研究所, 2008.
- * “Economic liberalization and areal differentiation of livelihood strategies in the smallholder coffee production area of the Arumeru District, Tanzania” African Study Monographs, Supplementary issue 35, 43-70, 2007.

- * 「「外邦図」のデジタル画像化とアーカイブ構築に向けて—東北大学における試行作業から」（共著）『季刊地理学』第56巻第3号, 163-168, 2004.
- * 「タンザニア・メル山麓の半乾燥平原における食糧作物流通の広域化と商業的灌漑運用の進展」高根務編『アフリカとアジアの農産物流通』, 323-383, アジア経済研究所, 2003.
- ・ 「東アフリカ小農社会のモラル・エコノミーをめぐる諸論—タンザニア・メル山周辺の新開地社会における農耕と流通の実態把握に向けて」高根務編『開発途上国の農産物流通—アフリカとアジアの経験』, 215-242, アジア経済研究所, 2002.
- * 「タンザニアの経済自由化と農村零細企業の形成過程—メル人社会における乳牛飼養と牛乳家内加工」高根務編『アフリカの政治経済変動と農村社会』, 307-364, アジア経済研究所, 2001.
- ・ 「タンザニア・メル山斜面における人口移動と生業の集落間連関—社会的ネットワークと生業をめぐる試論」高根務編『現代アフリカにおける国家, 市場, 農村社会』, 71-116, アジア経済研究所, 2001.
- ・ “Migration and inter-village livelihood relationships around Mount Meru, Tanzania : an essay on social networks and livelihood in the sedentary rural society” Science Reports of Tohoku University 7th Series (Geography) 50(1), 1-33, 2000.
- * 「零細企業群の経営論理とポピュリズム—ケニア・ニェリ市におけるジュア・カリ組織化」池野旬・武内進一編『アフリカのインフォーマル・セクター再考』, 19-56, アジア経済研究所, 1998.
- * 「ケニアにおける零細企業群再生産の歴史と理論」『アジア経済』第38巻第11号, 50-67, 1997.
- ・ 「ケニアにおけるインフォーマルセクターの研究動向」池野旬編『アフリカ諸国におけるインフォーマルセクター—その研究動向』, 1-34, アジア経済研究所, 1996.
- ・ “Territoriality and Public Participation in the Process of Budget Planning in Narashino City” John Sargent, Richard Wiltshire (ed.) Geographical Studies and Japan, 70-73, Routledge, 1995.
- ・ “Dynamics of Medium-sized Firms : the Changing Industrial Geography under Structural Adjustment in Tanzania Mainland” Science Reports of Tohoku University 7th Series (Geography) 44(2), 99-150, 1994.
- ・ Social Relations in Urban Petty Production : Market Traders in Nyeri, Kenya. Science Reports of Tohoku University 7th Series (Geography) 42 (2): 75-106, 1992.
- * 「ケニアにおける都市屋外小規模事業—雇用統計による都市類型化の試み」『アジア経済』, 32 (9), 44-63, 1991.
- * 「習志野市における住民参加の制度とその領域性」『地理学評論』, 62A (6), 417-437, 1989.
- * 「領域性概念と帰属意識—諸概念の展開とそのメタ地理学的反省」『人文地理』, 38 (3), 193-211, 1986.

(d) その他

- ・ 人文地理学会編『人文地理学事典』（共著），丸善出版，2013。（分担部分：社会問題と社会空間，220-221）
- ・ 加藤博・島田周平編『世界地名大辞典 第3巻 中東 アフリカ』（共著），朝倉書店，2012。（分担部分：エワソンニロ川，カラティナ，キンダルマダム，セントラル州，ティカ，ナニユキ，ニエリ，ニヤフルル，メル）
- ・ 加藤博・島田周平編『世界地名大辞典 第3巻 中東 アフリカ』（共著），朝倉書店，2012。（分担執筆：イスィオロ，エルワク，ガリッサ，ノースイースタン州，マンデラ，ワジール）
- ・ 松田素二・津田みわ編著『ケニアを知るための55章』（共著），明石書店，2012。（分担部分：モノカルチャ経済の今日—伝統からの脱却？ 130-134，ジュア・カリ—空き地と路上の職人生活，148-152）
- ・ 「池野旬著，アフリカ農村と貧困削減—タンザニア 開発と遭遇する地域」『アジア・アフリカ地域研究』10(1), 74-7, 2010.（書評）
- ・ 「石井洋子著，開発フロンティアの民族誌—東アフリカ・灌漑計画のなかに生きる人びと」『アジア経済』49(5), 72-76, 2008.（書評）
- ・ 池谷和信・武内進一・佐藤廉也編『世界地理講座 12 アフリカII』（共著），朝倉書店，2008。（分担部分：行商

人, 482)

- ・「政治・社会」『人文地理』, 56(3), 251-254, 2004.
- ・「環境地理学の教育とアフリカ」『アフリカ研究』(特別号), 72-73, 2004.
- ・「アフリカ」経済地理学会編『経済地理学の成果と課題 第VI集』大明堂, 261-270, 2003.
- ・「日本におけるアフリカ研究—1990年代の人文地理学」『アフリカ研究』, 58, 1-3, 2001.
- ・“Kinuthia Macharia, Social and Political Dynamics of the Informal Economy in African Cities: Nairobi and Harare.” 『アジア経済』, 39(12), 102-105, 1998. (書評)
- ・一橋大学地中海研究会『地中海という広場』(共著), 淡交社, 1998. (分担部分: ケニアの高地にて, 54-59)
- ・“Kenneth King, Jua Kali Kenya: Change and Development in an Informal Economy 1970-95.” 『アジア経済』, 38(6), 72-76, 1997. (書評)
- ・「調査の戦略と倫理—ケニアのある町より」『アフリカレポート』, 15, 31-4, 1992.
- ・「途上国都市の行商問題—ナイロビの経験」『地理』, 35(9), 50-6, 1990.
- ・「N. ハザン・R. モータイマー・J. ラベンヒル・D. ロスチャイルド: 現代アフリカの政治と社会」『地理学評論』, 63A(5), 335-337, 1990. (書評)
- ・「E. ストレン, R.R. ホワイト編: 危機にあるアフリカ都市」『地理学評論』, 63A(1), 37-39, 1990. (書評)
- ・「政治・社会」『人文地理』, 40(3), 51, 1988.
- ・「R.D. サック: 人間の領域性, その理論と歴史」『地理学評論』, 60A(6), 405-407, 1987. (書評)
- ・「G. ニコラーオ.: 起原の空間, 地理学の公理化」『地理学評論』, 59A(8), 498-500, 1986. (書評)

B. 本研究科着任後の研究活動 (着任 2015 年)

(a) 国内外学会発表

- ・“Sub-Saharan post-neoliberalism? Paid and free water supply in Machakos County, Kenya”, 日本地球惑星科学連合 2020 年大会, 2020. 7. 12-15, オンライン開催
- ・“Cost Sharing and Free Water Policy in Semi-Arid Rural Kenya”, 日本地球惑星科学連合 2020 年大会, 2019. 5. 26, 幕張メッセ
- ・「ケニア半乾燥地域における農村生活用水の持続可能性と無償給水政策」, 日本アフリカ学会第56回学術大会, 2019. 5. 18, 京都精華大学
- ・「ケニア・マチャコス市における水セクター改革後の上水供給」, 日本アフリカ学会第55回学術大会, 2018. 5. 27, 北海道大学
- ・“Economic significance of premature harvesting for farm forestry smallholders in the Mount Meru area, Tanzania”, 日本地球惑星科学連合 2018 年大会, 2018. 5. 20, 幕張メッセ
- ・「タンザニア・メル山地域における在村製材活動と製材品流通」, 日本アフリカ学会第54回学術大会, 2017. 5. 21, 信州大学 (教育学部)
- ・「タンザニア・メル山地域の農地林業と製材活動の実態」, 日本アフリカ学会第53回学術大会, 2016. 6. 5, 日本大学 (生物資源科学部)
- ・「タンザニア・メル山地域の農地林業と小径木化」, 日本地球惑星科学連合 2016 年大会, 2016. 5. 26, 幕張メッセ
- ・「中央ケニア、半乾燥 Laikipia 平原牧畜地域のガリー浸食と土地資源利用」, 2015 年度 東北地理学会 秋季学術大会, 2015. 10. 18, 上越教育大学
- ・「中央ケニア、半乾燥 Laikipia 平原牧畜地域の自然地理学的土地条件」, 日本地球惑星科学連合 2015 年大会, 2015. 5. 27, 幕張メッセ

- ・「ケニア西部農村における生活用水管理－井戸待ち行列分析」, 日本地球惑星科学連合 2015 年大会, 2015. 5. 27, 幕張メッセ
- ・「ケニア西部農村における井戸水利用の待ち行列分析」, 日本アフリカ学会第 52 回学術大会, 2015. 5. 24, 犬山国際観光センター “フロイデ”

(b) 国内研究プロジェクト

- ・科学研究費補助金・基盤研究(B), 「東アフリカ地域経済統合と小農の社会経済・資源保全に関する比較研究」(研究代表者), 日本学術振興会, 2020-2023
- ・第 47 回(平成 30 年度)三菱財団人文科学助成, 「タンザニア農地林業の対ケニア・バリューチェーン: 商人の活動戦略と生産者組織化の射程」(研究代表者), 三菱財団, 2019.4.1-2020.9.30
- ・科学研究費補助金・基盤研究(B), 「ケニアの半乾燥・貧困地域における生活用水のローカル・ガバナンスと生計安全保障」(研究代表者), 日本学術振興会, 2016-2019
- ・科学研究費補助金・基盤研究(A), 「アフリカにおける地方経済活性化と資源保全に関する実証研究－タンザニアの事例－」(研究分担者), 日本学術振興会, 2013-2017
- ・科学研究費補助金・基盤研究(B), 「ケニア農業地域における地形学的土地条件評価と民族土壌学的農地利用形態との相関」(研究分担者), 日本学術振興会, 2013-2015

(d) 研究会、シンポ等のオーガナイズ

- ・『自然資源・環境の利用・変化・管理: 社会科学と地球科学の接点』(コンビーナ), 日本地球惑星科学連合 2020 年大会, オンライン開催, 2020.7.12-15
- ・『自然資源・環境の利用・変化・管理: 社会科学と地球科学の接点』(コンビーナ), 日本地球惑星科学連合 2020 年大会, 幕張メッセ, 2019.5.26
- ・『自然資源・環境の利用・変化・管理: 社会科学と地球科学の接点』(コンビーナ), 日本地球惑星科学連合 2018 年大会, 幕張メッセ, 2018.5.20
- ・『自然資源・環境の利用と管理』(コンビーナ), 日本地球惑星科学連合 2016 年大会, 幕張メッセ, 2016.5.25
- ・『自然資源・環境の利用と管理』(コンビーナ), 日本地球惑星科学連合 2015 年大会, 幕張メッセ, 2015.5.27

C. 受賞

- ・平成 26 年度科学研究費助成事業・審査委員表彰

6. 学内行政

(B) 学内委員会

- ・教職課程専門委員 (2017 年 4 月～2019 年 4 月)
- ・学士課程教育専門委員 (2018 年 4 月～2020 年 3 月)

7. 学外活動

(a) 他大学非常勤講師など

- ・宮城学院女子大学: アフリカの文化と社会, 国際文化演習 A, 地域演習 C (2000～2001 年)
- ・横浜市立大学: 環境問題と地理学, アフリカ社会 (2002～2016 年)
- ・東北学院大学: 地誌学概説 (2007 年)

- ・お茶の水女子大学：地理学特殊講義II, 社会環境学（2009年）
- ・宮城教育大学：環境と開発（2009～2014年）

（b）所属学会および学術活動

- ・東北地理学会 編集委員長（2007年6月～2009年5月）、編集委員（1992年10月～1996年5月、1999年6月～2007年5月、2009年6月～2013年5月）、評議員（2001年6月～、2013年6月～2015年5月）、幹事（2013年6月～2015年5月）
- ・日本アフリカ学会 評議員（2008年6月～2010年5月）
- ・日本地球惑星科学連合 地球人間圏科学セクション ボードメンバー（2013年～2016年）
- ・人文地理学会 代議員（2018年10月～2020年9月）
- ・日本地理学会 E-journal GEO 編集専門委員（2020年～継続中）
- ・経済地理学会

（c）公開講座・市民講座

- ・「東アフリカ—共生と開発」, 一橋大学社会学部・連続市民講座「共生とは何か?—繋がる社会, 切り離される世界」, 2018.5.19
- ・「ケニア養豚事情」, 仙台アフリカセミナーの会, 仙台国際センター, 2011.2.17
- ・「東アフリカ農村における森林資源管理」, 仙台アフリカセミナーの会, 仙台国際センター, 2009.2.19
- ・「ケニアの灌漑農村と国際化—欧州市場向けサヤインゲン契約栽培の例」, 仙台アフリカセミナーの会, 仙台国際センター, 2007.2.15
- ・「東アフリカの農村社会と灌漑」, みやぎ県民大学「大学開放講座」, 2006.6.24
- ・「環境利用の空間組織と環境問題?東アフリカの人間環境地理を事例に」, みやぎ県民大学「大学開放講座」, 2004.10.1
- ・「山地斜面に広がる農民と物のネットワーク—タンザニア便り」, 仙台アフリカセミナーの会, 仙台国際センター, 2003.10.16
- ・「ケニアの青空職人—自動車修理工の出世物語」, 日本アフリカ学会東北支部例会・仙台アフリカセミナーの会 共催, 仙台国際センター, 2002.1.17

（e）その他（公的機関・各種団体・民間企業等における講演等）

- ・「サハラ以南アフリカ地域における人口・環境・死亡」, 仙台市立八軒中学校2年次総合的な学習（環境学習）, 2007.12.12
- ・「任国事情：ケニア」, 青年海外協力隊平成8年度第1次隊, 青年海外協力隊・二本松訓練所, 1996.6.14

8. 官公庁等各種審議会・委員会等における活動

- ・日本貿易振興会アジア経済研究所「アフリカ諸国におけるインフォーマル・セクター」研究会・外部委員（1995年4月～1996年3月）
- ・日本貿易振興会アジア経済研究所「アフリカ諸国における複合的就業構造」研究会・外部委員（1996年4月～1997年3月）
- ・日本貿易振興会アジア経済研究所「現代アフリカにおける国家, 市場, 農村社会」研究会・外部委員（1999年4月～2000年3月）
- ・日本貿易振興会アジア経済研究所「現代アフリカの政治経済変動と農村社会」研究会・外部委員（2000年4月～）

～2001年3月)

- ・日本貿易振興会アジア経済研究所「開発途上国の農産物流通：アジアとアフリカの経験」研究会・外部委員
(2001年4月～2002年3月)
- ・日本貿易振興会アジア経済研究所「アフリカとアジアの農産物流通」研究会・外部委員(2002年4月～2003年3月)
- ・日本貿易振興会アジア経済研究所「アフリカ農村の住民組織と市民社会」研究会・外部委員(2007年4月～2009年3月)
- ・平成26年度・外務省ODA評価(第三者評価)国別/地域別評価ケニア, アドバイザー(2014年4月～2015年3月)
- ・東京都立立川高等学校, スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員(2018年度～継続中)
- ・日本貿易振興会アジア経済研究所, 第39回「発展途上国研究奨励賞」(2018年度)選考委員
- ・日本貿易振興会アジア経済研究所, 第40回「発展途上国研究奨励賞」(2019年度)選考委員
- ・日本貿易振興会アジア経済研究所, 第41回「発展途上国研究奨励賞」(2019年度)選考委員